

# ピースアクション in ヒロシマに参加して

## ●西京区

今回参加させて頂いて「百聞は一見にしかず」と思いました。

高校生たちが描いた戦争、原爆体験者の方々の記憶の絵は、特に心に残りました。思い出したくない事を、二度と戦争を起こさないようにという思いで語った体験者の方たちの心の内を思うと、言葉も見つかりませんし、引き受けた高校生たちも色々な葛藤があったらと思います。

広島に行かせて頂いて、子どもも子どもなりに肌や目、耳で感じとったことがあった様子です。私も戦争を起こさせないように、行動していこうと思いを新たにできました。

この活動は、生協だからこそ出来ることだと思います。これからも続けて頂いて、1人でも多く戦争、原爆について考えようとする人が増えていってほしいと思います。

## ●西京区（10歳男の子）

虹の広場で71年前広島に原子爆弾が落とされたたくさんの人がなくなって、食べ物も食べられなくなって、病院もなくなって、ひどい町にされてかわいそうと思いました。

戦争はだめだと思いました。

## ●中京区

オバマ大統領の訪問と演説があった記念すべき年に、広島を訪問することが出来て本当によかったと思いました。

『ピースアクション in ヒロシマ 2016』に参加して、高校生や大学生など若い方達がさまざまな形で取り組まれていることを知って胸が熱くなりました。また、日本被団協の岩佐幹三さんが手記と被爆体験の講演に大きな感銘を受けました。想像もつかないほど苦しみやつらさを思うと同時に、涙と共に大きな怒りを覚えました。

そして、こんなに残酷でつらい事実が存在するのに、未だ核兵器が無くならないことが不思議で仕方ありません。各国の首脳が、広島や長崎を訪れたらきっと「世の中に核兵器があってはならない」というふうに考えるでしょうに、なぜ無くならないのでしょうか？

原爆資料館の訪問は3度目でしたが、今回、初めて吉永小百合さんの音声案内を利用して見学しました。何気ない写真にも大変な被爆の不幸な事実があることを理解できました。ただし、半分が準備中？で見学できなかったのが残念でした。

東北地震の後、福島に、福島第一原発があったがために、神戸のような復活が出来ず、後処理に莫大な時間や費用がかかっている事実があるのに、今、また愛媛県伊方原発が再稼働しました。

改めて、核兵器と共に原発も絶対要らない！と叫び続けていきたいと思いました。

京都の暑さに比べるとずい分過ごしやすかったのですが、時間に追われて、ゆっくりと見学することが出来ませんでした。平和について、立ち止まって考えることが出来ました。

この度は、貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

## ●宮津市（11歳男の子）

僕はピースアクションに参加して広島、長崎などに落ちた原爆の威力を改めて知り、こんな原爆や戦

争をせず、平和な世界が続いたらいいなと思いました。

### ●宮津市

中学の修学旅行以来の広島でした。息子にぜひ原爆ドームを見せたかったので参加しました。息子がどう感じとったかは分かりませんが…

私たちの小さいころは原爆が落ちた日に小学校の登校日があり、原爆の映画を見た記憶があります。今は、そんなこともなく、原爆??って感じなんだろうな?って思います。

またゆっくりと広島を訪れたいです。

### ●下京区

8月5日朝。京都駅の新幹線改札口に集合した私たち。「小学生の男の子とお母さん」の2組とお、女性4名。10歳～最高齢78歳の8名、プラスCOOP担当者の坂田氏。

広島といえば。今年は快進撃中のプロ野球「カープ」。お好み焼。もみじまんじゅう、そして街を走る市電。

いつもとちがうのは、今年5月にオバマ大統領が訪問されたこと。広島に行ったら、オバマさんの「折り鶴」が見られるのかな?普段は忘れてしまいがちな「平和」について、あらためて学んでみよう!と。この「2016ピースアクション in ヒロシマ」に参加させていただきました。

日本生協連主催の平和イベント「せいきょう虹のひろば」では、広島の高校生たちが素晴らしいステージを見せてくれました。

オープニングは女子高生たちの力強い和太鼓演奏。そして3組の発表がありました。1つ目は、つまようじ8万4千本を利用して点描画の手法で描いた「原爆ドーム」。2つ目は、被爆者の方々から聞いた原爆投下直後の様子を絵画で表現されたもの。3つ目は、工業高校の男子たちがコンピューターグラフィックで、原爆投下前の穏やかな広島の町と、投下直後のすさまじい様子を表現されていました。若い世代が目を見守り、71年前の出来事に向きあって、それを次の世代に伝えようとしている!その事に感動しました。

ホテルでディナーをいただき、翌日は8月6日。世界中から、折り鶴の束を持った人々が一緒に市電に乗り、平和記念公園へ。木陰でモニター画面で式典を見守りました。暑い快晴の8時15分。71年前に、ここにもし私がいたとしたら、地表3000℃の熱さと爆風で、全身やけどで皮ふがたれ下り、「水!水!」と苦しみながら死んだのでしょうか…。

式典後のCOOPイベント、「碑めぐり」で案内してくれた方の説明を聞くことで、新聞や本など活字で知っていたことが、現実の事として実感できました。今回、広島で多くの事を学びました。そのことを友人や子や孫たちに伝えていきたいと思いました。

### ●久御山町

ヒロシマで生協主催のピースアクション in ヒロシマに参加させていただき、原爆のおそろしさ、被爆の苦悩、苦痛を知り色々の事を学びました。

戦後71年、私達は日本の平和な生活があたり前のような毎日が、どのような犠牲の上にあったかと云うことを、又現在の日本の長寿社会も平和で

あると云う事をありがたいと思わなければ…。先般、オバマ大統領が現職の大統領として初めて広島にこられ「核兵器のない世界をする勇気を持たなければならない」との一節を引用されノーベル平和賞を

もらわれた大統領にケネディ大使が何回か、いくように云われたとの事だそうですが、核保有国の指導者が広島にこられることを祈ります

ヒロシマに来て全国の生協会員の平和の取り組みに感動しました。ありがとうございました。

#### ●伏見区

何故、どうして日本の広島と長崎に原子爆弾が投下されなければならなかったのか、これ程恐ろしい原子爆弾を投下することは。人類を滅亡へと追いやる事ではないか！！昨今、核軍縮は世界中で唱われていますが、実際にはまだまだほど遠く、むしろ地域紛争やテロ事件が多発しているのが現状です。

被爆された方々の怒りや悲しみを越え、とつとつと話される、訴えられるさまに、心が痛みます。原爆投下による苦しみは、身体はおろか心をどれ程深く痛められたことか。

痛みや不安、心配も考えられず、それでも黙々と現実の日々に耐えてこられた姿に涙が止まりません。

「絶対に繰り返してはいけない！！」

尊い命を守っていく事が、今私達に出来る唯一の事だと考えさせられました。

今回のピースアクション in ヒロシマに参加する事が出来て、本当に良かったです。毎年、テレビで「平和祈念式典」を見ながら一度は必ず行きたいと思っておりました。又、ピースアクションは子供達にもわかり易く、参加しやすい企画であること。この企画を多くの子供達が参加され、いつまでも絶える事なく続くことを願います。

お世話になり、ありがとうございました。